

令和元年度

烏山北小学校 校内研究

2年分科会 提案授業

教科：国語

1月21日（火）

授業者：石田 祥子

1 研究主題

(1) 研究主題

「世田谷9年教育」研究開発 CM（カリキュラム・マネジメント）スクール

これからの社会を生き抜く児童の育成

～社会科を軸としたカリキュラムマネジメントを通して～

(2) 目指す児童像

- ・知識や技能を習得したり、活用したりする児童
- ・いかなる課題も解決する思考力・判断力・表現力を身に付けている児童
- ・学んだことを実生活につなげ社会のためにできることを考え、行動する児童

2 協議会で話し合うこと

社会科を軸としたカリキュラムマネジメントにおいて土台となる「話す・聞く力」は『スピーチ、各教科で学んだペア学習やグループでの話し合い、クラス全員で考えを1つにまとめる学習などを活用して、話し合いを行う』姿としている。本授業では少人数のグループで、考えを1つにまとめる学習を行う。そこで、今回は本授業を通して育てたい「話す・聞く力」について検証したい。

協議会の視点

○グループでおすすめる代表のこまを決める本時の流れはカリキュラムマネジメントを行う上で「話す・聞く力」を伸ばすことにつながっていたか。

- ①「つかむ」段階での「振り返り」「話し合いのめあて、方法の確認」「動画」等の手立てや流れ
- ②「取り組む」段階での「話し合い」の場面での指導や助言について
- ③「まとめる」段階での、学習のふりかえりや次時の見通しの持たせ方について

《画用紙》 分科会で話し合いながら書き、ホワイトボードへ！

青：成果 黄色：質問 ピンク：課題

「コンテストに出すこまをきめよう」(9時間)

1 単元の目標

こまのコンテストに出すために、理由を示しながら考えを述べ、話し合いによりグループ代表のこまやスピーチの方法を決める。

2 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現等	ウ 主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 ・姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をしている。 ・理由を明確にして考えを述べている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の見通しをもってすすんで少人数で話し合おうとしている。

3 単元について

5月教材「できたらいいな」では、自分ができたらいいなと思うことを伝え合う学習をした。この学習では、話す人は丁寧な言葉づかいで、相手に分かりやすく話す体験をした。また、どんなふうに聞いてくれると話しやすいかを考えさせ、聞き方の指導に結び付けた。この学習を経験したことで、朝の日直のスピーチなどが充実してきている。

本教材「コンテストに出すこまをきめよう」は、前単元「紙パックで、こまを作ろう」での楽しいこま作り体験を経て、コンテストに出すこまを決めるという計画のため、児童たちは話し合う必要性を感じ取ることができると考えた。自分たちが作ったこまだからこそ、工夫点や色合いなど細かい点にも目が向き、よりよいこまを決めることへの活動に生き生きと取り組んでいけるのではないかと考えた。

自分の考えを伝えられる児童は多いが、他者の考えを聞くことについてはまだ経験が少ない。そのために話し合いの目的を明確にし、こまで遊んだ体験を経ることで、自分の考えを明確にもちやすくなると考え、単元を設定した。また、コンテストに出すこまを一つに決めるという目的があるので、少人数の中で他者の意見との相違点を見出して理解を図り、まとめ上げていく体験をさせたい。

4 カリマネ Point

縦カリ （「話すこと・聞くこと」年間指導計画）		1 学期	2 学期	3 学期
	第 1 学年	みつけた、おぼしきせてはききぬきつ くちのそ (4月) たいのききの (6月) いぬなえ (7月)	きのうこんなことがあったよ (9月) ねえ、どっち (12月) → (10月)	クイズでおしえます (2月)
	第 2 学年	できたらいいな (5月) 自分の声で (6月)	夏休みの思い出 (9月) 電話でつたえよう (12月)	コンテストに出すこまをきめよう (2月) 本時
	第 3 学年	小さなできごと (5月) 声を合わせて楽しく読もう (6月)	よりよいクラスを作ろう (9月) 南の島へようこそ (12月)	昔のことを聞いてきました (2月)
	第 4 学年	こんなこと、ありませんか (5月) 落語じゆげむ (6月)	安全について考えよう (9月) 大きくなったらなりたいもの (11月)	レポーターになろう (2月)
	第 5 学年	おすすめします、この 1 冊 (5月) 狂言しびり (6月)	メディアについて考える (9月) 写真と絵、どちらを選ぶ? (12月)	動物とともに生きるために (2月)
	第 6 学年	このニュース、わたしはこう思う (5月) わたしたちの言葉 (6月)	おぼしにしたいあの人物 (9月) どんな国? (12月)	平和な世界を築くために → パネルディスカッション (2月)
横カリ （第二学年 全教科）	話す力	聞く力	話し合う力	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ はっきりした発音で話す。 <li style="text-align: center;">↓ ・ 相手に言いたいことを伝えようとする。 <li style="text-align: center;">↓ ・ 相手に言いたいことが伝えられる。 <li style="text-align: center;">↓ ・ 相手に分かるように話す。 (適切な声の大きさ、姿勢、内容) <li style="text-align: center;">↓ ・ あったことを順を追って話せる。 <li style="text-align: center;">↓ ・ 言いたいことが順を追って話せる。 <li style="text-align: center;">↓ ・ 身近な事柄について、話題に沿って話し合える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手の言っていることがだいたい分かる。 <li style="text-align: center;">↓ ・ 話を最後まで黙って聞く。 <li style="text-align: center;">↓ ・ 相手の言っていることが分かる。 <li style="text-align: center;">↓ ・ 話していることが、自分と同じ考えか違う考えか分かる。 <li style="text-align: center;">↓ ・ 話の中で大事なことが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の考えをもつ。 <li style="text-align: center;">↓ ・ 自分の考えを相手に伝える。 <li style="text-align: center;">↓ ・ 相手の考えを受けて話をつなぐ。 <li style="text-align: center;">↓ ・ 互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめる。 	

◎本単元におけるカリキュラムマネジメント

国語科 めいご 「コンテストに出す」こまをき	① 教科と教科 学活「学級会」→話し合い活動
	② 単元と単元 「紙パックで、こまを作ろう」→こま作り体験→コンテスト開催
	③ 体験 小グループでの話し合い
	④ 楽しさ 「紙パックで、こまを作ろう」→こまで遊ぶ

5 2年生分科会研究について

本校の研究主題『これからの社会を生き抜く児童の育成』のために、全ての教科の基礎となる国語科の「話すこと・聞くこと」の力を低学年のうちから育てていくことが必要である。

そこで、2年生分科会では、以下の4つの取組みをすることにより、「話すこと・聞くこと」の力の基礎が身に付くと考えた。

(1) 日直のスピーチ

日直のスピーチでは、経験した出来事を丁寧な言葉遣いで相手に分かるように順序立てて話すことや、感想を伝えたりや質問をしたりすることを経験している。その際には次の日直が必ず質問をする機会を設け全員が、互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつなぐことを習慣付けている。その結果、自分の思いや考えを伝えられる力が育ってきている。

(2) 4人グループの活動

話し合いをする際に人数が多いと意見がまとまりづらと考え、話し合いをすすめるグループは4人に設定した。話をして一つの考えにまとめる活動にあたり、話し合いを進行できそうな児童がグループ内に入るように意図的にグループ編成をした。今までは司会を立てずに話し合い活動が多かったが、グループ内に司会がいることで話し合いがスムーズにできると考えた。本単元を通し、司会がいると話し合う活動がスムーズになることに気付かせたい。

また、話すことが得意でない児童は、おすすめポイントとして出た意見と理由を言うときの意見、話し合いのポイントとなるそれぞれの掲示物をもとに意見を出せるようにした。

(3) 学習過程の工夫

最後のコンテストの場の設定として、隣のクラスの児童にこまを選ばせるという設定をした。自分たちが選んだ代表のこまを隣の学級の児童に選んでもらうことにより、まだ見ていない人へのアピール方法や、おすすめポイントを真剣に話し合う姿が見られると考えた。

(4) モデル動画の活用

今回の話し合い活動でポイントとなることを児童が理解しやすくするために、話し合い活動のモデル動画を用意した。その動画の中で、ポイントとなる「理由をはっきり述べる」「論点に沿った話し合いをする」「司会を立てて話し合いをする」などが分かりやすいものにした。

6 単元の指導計画（一単位時間別）

第1時（全9時間）

1月 16日（木）4校時

(1) ねらい

・コンテストに出すこまを、グループで話し合うことによって決めるという活動の見通しをもつ。

(2) 展開

		○学習活動 ・児童の反応	★指導上の留意点 ■資料（種類） ◎評価規準【観点】（評価方法）
つかむ	① 10分	○単元名から、学習の見通しをもつ。 ・他のクラスのこまも見たいな。 ・自分たちで決めていくっておもしろいな。 ・コンテストって楽しそう。 ・どうやって決めていくのかな。 めあて これからの学習の計画を立てよう。	★前単元「紙パックでこまを作ろう」で説明文を読んでこまを作る際から、コンテストを意識させておく。
	② 15分	○コンテストまでの流れを確認する。 ①グループで代表のこまを決める。 ・話し合いで決めたいね。 ②コンテストでは代表のこまをグループでアピールする。 ・せっかく選んだこまだから、いいところをたくさん見つけたいな。 ・相手に伝わるように発表したいね。 ③他のクラスのアピールを聞いて投票する。	★それぞれの学習段階において、どんなことをしたいのか自由に意見を出させ、活動への意欲と感心を高める。
取り組む	③ 15分	○どんなこまをおすすめしたらよいか、おすすめポイントを出し合う。（グループ→全体） ・長く回るこまがいいと思います。なぜなら、長いと強いこまだと思うからです。 ・見た目がきれいだとわくわくするから、回したときの色がきれいなこまがいいと思います。 ・基本の形からすごく変わっていると、びっくりすると思うから、形を工夫しているこまがいいと思います。	★理由を言うときの言い方を考えさせ、手本となる形を掲示物で示す。 なぜなら、 りゆうは、 どうしてかというと、 } ~からです。 ~だから、…がいいと思います。 ★こまのよさ、見方は様々あることを押さえ、第3時の話し合いの際のヒントになるようにする。 ◎学習の内容を知り、学習の見通しをもっている。【態度】（観察、ノート）
	④ 5分	○学習を振り返り、次時の見通しをもつ。 ・グループで代表を決めなくちゃ。 ・どんな風に話し合いをすすめればいいのか考えたいな。	★今後の見通しがもてるよう、確認した学習の流れが掲示できるようにする。

- (1) ねらい
 ・話し合いをするときのめあてや方法を理解する。
- (2) 展開

		○学習活動 ・児童の反応	★指導上の留意点 ■資料 (種類) ◎評価規準【観点】(評価方法)
つかむ	① 5分	○前時を振り返り、本時のめあてを確認する。 ・コンテストに出すこまをグループで決めるんだよね。 ・その話し合いはどんな風にしたらいいかな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">めあて グループで話し合うときに大切なことを考えよう。</div>	★グループの中で1つ代表を決めることを確認する。 ★すぐに話し合いに入るのではなく、本時はそのための準備で、何が大切なのかを考える必要があることをおさえる。
取り組む	② 20分	○代表を1つ決める時に、何が大切なのかを考える。 ・なぜそのこまがいいのか、理由がわからないと決まらないね。 ・みんなの意見を聞く必要があるよ。 ・なかなか決まらないときはどうしよう。 ・みんなが「なるほど」って思う理由だと1つに決まっていくと思う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">話し合いのめあて 理由をはっきりさせて、そのこまのよいところを伝え合おう。</div>	★1つに決める難しさはどこにあるのかを考えさせ、そのためにはどんなことが大切なのかを考えられるよう助言する。 ★理由がはっきりすると、話し合いがすすむことを明確にする。
	③ 15分	○話し合いの方法を理解する。 ・話し合いのめあてのために、やっぱり全員がまずは意見を言った方がいいね。 ・はじめに順番に言ってから、どんどん意見を出す方がいいかな。 ・司会がいるといいね。 ・自分のこまばかりではなく、他の人のこまのよいところを見つける。	★「方法」というと難しさがあるので、「②で考えた)話し合いをするために、どういう風にするか」と発問する。 ★意見の言い方や聞き方などの視点で意見が出てくることも予想される。それも大切に扱い、意識していけるようにする。 ◎学習の見通しをもち、進んで自分の意見を発表しようとしている。【態度】(観察、ノート)
まとめる	④ 5分	○学習の振り返りをし、次時の見通しをもつ。	★本時で学んだ内容を次時の話し合いに活かしていけるよう、出てきた意見をまとめ、掲示できるようにする。

(1) ねらい

- ・グループで話し合い、コンテストに出す代表のこまを決める。

(2) 展開

		○学習活動 ・児童の反応	★指導上の留意点 ■資料（種類） ◎評価規準【観点】（評価方法）
つかむ	① 15分	<p>○前時を振り返り、話し合うことと、めあてや方法を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代表のこまをグループで1つ決めよう。 ・理由をはっきりさせよう。 ・まずは順番に全員が意見を言おう。 	<p>★これまでにまとめた内容を掲示し、大切なポイントがわかるようにする。</p> <p>■理由の言い方</p> <p>■おすすめポイントのヒント</p> <p>■話し合いで大切なこと</p> <p>★具体的な話し合いの場面を客観的に見て学べるように事前に動画を準備する。</p> <p>★動画を見て司会の方法や理由の伝え方を具体的にイメージさせる。</p>
		<p>めあて 理由をはっきりさせてこまのよいところを伝え合い、代表のこまを決めよう。</p>	
取り組む	② 20分	<p>○グループ（3～4人）に分かれ、代表のこまを決める話し合いをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンテストに出すこまは、どれがいいですか。○○さんから意見をお願いします。 ・私は、Aさんのこまがいいと思います。理由は、とてもカラフルで回った時の色がきれいだからです。 ・ぼくはBさんのこまがいいと思います。理由は、形がかっこよくて珍しいし、回るとぎざぎざが見えるのがいいと思うからです。 ・私は、Cさんのこまがいいと思います。理由は、お花みたいで色がきれいだからです。 ・ここからは、それぞれが聞いた意見をもとに1つに決めていきます。何か意見はありますか。 	<p>★話し合いをすすめる際に、おすすめ部分分かるよう、実物のこまを机上におき、回したり見たりできるようにする。</p> <p>★話し合いがうまくいかないグループには、みんなが「たしかに」「なるほど」と思えるような理由をたくさん見つけられるといいことを改めて助言する。</p> <p>★話し合いが早く終わったグループには、代表のこまのおすすめの理由をノートに書かせ、第5時の手立てとさせる。</p> <p>◎理由を明確にして考えを述べている。 【思・判・表】（観察）</p>
まとめる	③ 10分	<p>○学習の振り返りをし、次時の見通しをもつ。</p>	<p>★難しかったことも含め、話し合う際にはどんなことが大切だったのかを子どもたちの言葉でまとめ、次につなげる。</p>

第4時 (全9時間)

1月22日(水) 1校時

(1) ねらい

- ・グループでの話し合いを振り返り、コンテストの計画を立てる。

(2) 展開

		○学習活動 ・児童の反応	★指導上の留意点 ■資料(種類) ◎評価規準【観点】(評価方法)
つかむ	① 10分	<p>○話し合いを振り返り、本時のめあてを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理由をたくさん考えながら話し合うことができた。 ・1つに決めるのは難しいけれど、理由がわかるとすごく納得できた。 ・全員の意見を聞いてよかった。 ・実物があって回すこともできてよかった。 	<p>★次の、コンテストに向けた話し合いに結び付くような振り返りになるよう、話し合いのめあてに戻って考えさせる。</p>
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">めあて</div> コンテストの計画を立てよう	
取り組む	② 15分	<p>○コンテストの方法について話し合う。(全体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代表のこまをスピーチしてアピールしよう。 ・グループで選んだこまだから、グループのみんなでアピールしよう。 ・実際に回った様子も見せたいな。 	<p>★コンテストの様子がイメージできるように、具体的な姿を共通理解していく。</p> <p>★実際に回る様子は、画面で見せて全員に見えるようにすることを伝える。</p>
	③ 15分	<p>○投票してもらうためには、どんなスピーチをしたらよいかを話し合う。(グループ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前の話し合いででてきた理由を詳しく伝えるといいよ。 ・短い言葉でいうとわかりやすいと思う。 ・たくさん理由があると説得力があるよね。 ・作った人の感想を入れるといいと思う。 	<p>★グループでの話し合いを思い出させ、皆で意見を出し合うことや、その理由を言う大切さを再度確認しながらすすめる。</p> <p>◎友達の意見を聞いて、理由を述べながら自分の意見を発表しようとしている。【態度】(観察)</p>
まとめる	④ 5分	<p>○学習の振り返りを書き、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際にどんなスピーチをするか考えたい。 ・スピーチの練習もしたいな。 <p>○次時は、カードなどを用いて、伝えたいことを整理することを確認する。</p>	<p>★グループで話し合ったスピーチの方法を活かし、次時は内容面を考えていくことを共通理解させる。</p>

第5時 (全9時間)

1月23日(木) 1校時

(1) ねらい

- ・グループ代表のこまの特徴が伝わるように、スピーチカードを作る。

(2) 展開

		○学習活動 ・児童の反応	★指導上の留意点 ■資料(種類) ◎評価規準【観点】(評価方法)
つかむ	① 5分	○前時に確認した本時の学習について確認する。 ・おすすめポイントの理由が詳しくわかるように伝えたい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">めあて 発表したいことをカードにまとめ、スピーチの内容を考えよう。</div>	★おすすめポイントがグループ内で共通理解できるように、本時ではカードに記入させ、その後分担しやすいようにする。
取り組む	② 15分	○グループごとにおすすめポイントをカードに記入する。 ・1つは、回った時の色がきれいなところだよね。 ・でも、回ってない時も、きれいだからそれも1つだと思う。 ・そうだね。形のよさもこないだの話し合いででてきたよね。	★代表のこまを決めた話し合いで、どんな意見でこのこまに決めたのかを思い出させる。 ★おすすめポイントのヒントカードを示し、話し合いのときの手立てにする。
	③ 15分	○順番を考え、試し読みをし、修正する。 ・まずは、一番のおすすめポイントを言うとうわかりやすいと思う。 ・最後は、作った人の感想にしたらどうかな。大変だったところも伝わるといいよね。 ・このポイントは理由がわかりづらいからもう少し詳しく言うといいと思う。	★おすすめポイントのカードを並べて順番を決め、その後よりよくなるよう修正を加えさせる。 ◎「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をしている。【思・判・表】(観察)
まとめる	④ 10分	○学習の振り返りをし、次時の見通しをもつ。	★次は、修正した内容をもとに、分担していくことを共通理解させる。

第6時 (全9時間)

1月24日(金) 1校時

(1) ねらい

・聞く人(他クラス)にわかりやすいように、順序を考えて話す練習をする。

(2) 展開

		○学習活動 ・児童の反応	★指導上の留意点 ■資料(種類) ◎評価規準【観点】(評価方法)
つかむ	① 5分	○本時の活動を確認する。 ・伝えたいことはカードにまとまったから、分担したいね。 ・やっぱり練習しないと不安だな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">めあて 聞く人にわかりやすいように、順序を考えて話す練習をしよう。</div>	★前時に作ったカードをもとにし、コンテストを意識した準備を行うことを確認する。
	取り組む	② 10分	○グループに分かれて、分担を決める ・このポイントは「はじめ」に伝えるから、祖の後で、実際に回した時の様子を見せたいね。 ・スピーチする人と回す人は別にすると、伝わりやすいと思う。 ・次の人が回すようにしよう。 ・最後は全員で声をそろえて、「○○なこまなので、ぜひ選んでください」と言っておしまいにしたらいいと思う。 ・誰がどのポイントを言うか決めよう。
	③ 25分	○担当の部分を練習し、アピールするためのスピーチをよりよくしていく。 ・もう少し大きな声で言った方がいいね。 ・スピーチ順に並んで言うといいね。 ・メモはなるべく見ないで言うとうまく伝わるね。 ・おすすめのポイントの部分はゆっくり言おう。	★練習の中でよりよいアイデアが出てきたら取り入れていくよう助言する。 ★スピーチなので、できるだけカードは見ないで言うように指導する。 ◎姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。【知・技】(観察)
まとめる	④ 5分	○学習を振り返り、次時の見通しをもつ	★次は、他クラスへ行ってスピーチすることを確認する。

第7・8時 (全9時間)

1月28日(火) 2, 4校時

- (1) ねらい
- ・コンテストを開き代表のこまのスピーチを行う。
 - ・他クラスのスピーチを聞き、コンテストに投票する。
- (2) 展開

		○学習活動 ・児童の反応	★指導上の留意点 ■資料(種類) ◎評価規準【観点】(評価方法)
つかむ	① 10分	○手順を確認し、コンテストを開く。 [めあて] スピーチを聞き合い、投票をしておすすめのこまを選ぼう	★学級で決めた順番や方法を確認し、他クラスにも手順を説明する。
	取り組む	② 35分	○アピールのためのスピーチを行う。 ・おすすめポイントが伝わるように、はっきりと言おう。 ・決めた順番で、実物を店ながらアピールしよう。 ・はっきり伝わるように後ろまで届く声でスピーチしよう。 ○他グループのスピーチを聞き、よい点を見つける。 ・まず1番のおすすめを言っていたのがとてもわかりやすかった。 ・最後に全員で合わせて言っていてよかった。
		③ 35分	○投票するためにおすすめポイントを落とさずに聞く。 ・こんな形は思いつかなかったから、私はあのこまがいいと思うな。 ・たしかに回った時の色が素敵だから、このこまがいいかな。
まとめる	④ 10分	○学習の振り返りを書き、交流する。 ・練習したスピーチのように、みんなに伝わるようなアピールができた。 ・他のグループも色や形でアピールしてよかった。	★ここでは、コンテストの振り返りにとどめ、単元を通した振り返りは次時に行うことを確認する。

第9時 (全9時間)

1月29日(水) 1校時

(1) ねらい

- ・これまでの学習(話し合い、コンテスト)について振り返る。

(2) 展開

		○学習活動 ・児童の反応	★指導上の留意点 ■資料(種類) ◎評価規準【観点】(評価方法)
つかむ	1 10分	○これまでの学習過程を振り返る。 ・グループで代表のこまを決めた。 ・コンテストのために分担を決めた。 ・コンテストではスピーチをしたり、聞いたりして投票した。 めあて 話し合いやコンテストでよかったことを考えよう。	★これまでに学習してきた過程がわかるよう掲示し、振り返りの手立てにする。
取り組む	2 20分	○グループに分かれ、コンテストを振り返る。 ・一番伝えたいおすすめポイントを強く言うことができたのがよかった。 ・最後に作った人の感想を入れたし、決めた順番がよかった。 ・たくさん理由があるグループは、「なるほど」と思って投票したいなと思った。 ・メモをとって聞いたら投票に使うことができてよかった。	★話し合いやスピーチで身についたこと、次の話し合いやスピーチに生かせそうなことなどを書かせる。 ◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 【知・技】(観察、ノート)
	3 5分	○「わたしの本だな」の本の紹介を聞く。 ・「かみひこうき」 ・「植物あそび」 ・「びゅんびゅんごまがまわったら」	★学習したこととのつながりを中心に短く紹介し、読書への意欲を高める。 ★教室内に置き、随時読むことができるようにする。
まとめる	4 10分	○学習の振り返りをする。 ・意見を言うときは理由をしっかりと相手に伝わりやすい。	★この単元で学んだことが、他の教科や単元でも生かせるようにする。